

マツモトキヨシ ベトナム ジョイントストック カンパニー

トップメッセージ

代表取締役 CEO
宮岡 弘樹



発展を続けるベトナムでブランドの認知拡大へ PB商品含む日系商品の品揃え強化と 接客による差別化を図る

2020年7月、ベトナム社会主義共和国のロータス・フード・グループ株式会社とドラッグストア事業の展開を目的とした合併会社を設立。同年10月にホーチミン市の1区に1号店をオープンしました。2023年9月にはハノイへ進出し、2026年3月末現在で20店舗を運営しています。ベトナムの方々が求める健康食品、化粧品を中心に提案できるように、人気の高い日系商品を豊富に取り揃えている点を強みとしています。豊富に商品を品揃えすることで、お客様が実際に見て、手に取って、楽しく買い物ができる店舗づくりを目指しています。

エリア別
店舗数

計20店舗

ホーチミン 11店舗

ハノイ 4店舗

ハイフォン 1店舗

ダナン 1店舗

ドンナイ 2店舗

カントー 1店舗

※2026年3月末現在

名称
所在地
会社設立

マツモトキヨシベトナム ジョイント ストック カンパニー
MATSUMOTO KIYOSHI VIETNAM JOINT STOCK COMPANY
9-9A No Trang Long, Gia Dinh Ward, Ho Chi Minh City, Vietnam
2020年7月

事業計画と施策

ベトナムの2025年GDP成長率は8.02%と、東南アジアでもトップクラスの水準を継続して維持しています。2024年12月には日本の支援でつくられたホーチミンメトロ1号線(地下鉄)が開通し、生活がより便利になりました。また、2026年にはロンタイン空港の開港が予定されており、国際ビジネスの強化や観光客の増加が期待され各国のチェーン企業による出店や進出が続いています。

国内の2大都市であるハノイとホーチミンでの早期出店とマーケティング活動により、国内でのマツキヨブランドの認知度向上を図ります。また、当社独自の施策として、収益改善と接客レベルの向上を目的に、日系商品を中心とした店舗スタッフ対象の販売コンクールを実施しています。この取組みにおいて重要なことは、従業員が商品知識を学び、より深いアドバイスを可能とすることです。商品の特徴だけを説明するのではなく、お客様の悩みや相談に寄り添い、美容と健康に関する最新の情報を提供できる体制を構築してまいります。

今後の方針

今後は、ハノイとホーチミンを中心とした主要都市への出店を加速させるとともに、EC事業の拡大を通じてマツキヨブランドの浸透を図ります。商品そのものだけでなく、そこに新しい付加価値をプラスすることで、「マツキヨに行けば、いつも新しい商品や発見がある」とベトナムのお客様に感じていただける店舗、そしてブランドを目指します。また、現地従業員の育成は、当社の成長にとって大きな資産です。「マツキヨココカラWAY」の浸透を更に促進することで、日本とベトナムの従業員間での意識統一を図り、組織全体の業務レベル向上に取り組んでまいります。

